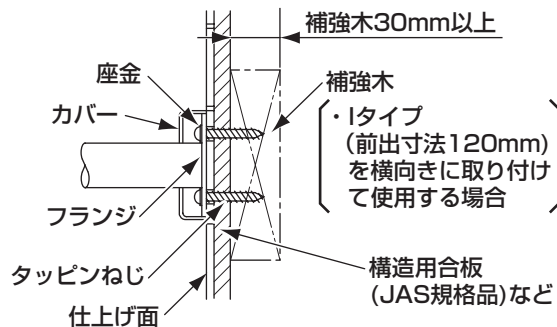


木下地：タッピンねじ固定の場合

固定金具品番 同梱のタッピンねじ・座金をご使用ください。

- ①事前に手すりにあわせた厚みの構造用合板(JAS規格品)または補強木を建築躯体に取り付ける。**注1**
- ②心出しをしたあと、下穴(φ3mm)をあける。**注2**
(タイル壁の場合は、タイル部のみ通し穴をφ5.5mmのドリルであけてください。)
- ③下穴および下穴周囲にシリコーンを塗布する。**注3**
- ④タッピンねじに座金を通しフランジの取付穴より取り付ける。**注4**
- ⑤カバーを仕上げ面に押し付ける。



※軽量鉄骨下地の場合は、下記**注1**を確認し、必要な厚み以上の構造用合板(JAS規格品)または補強木を軽量鉄骨に固定し、手すりはこの下地材に取り付けてください。

注意

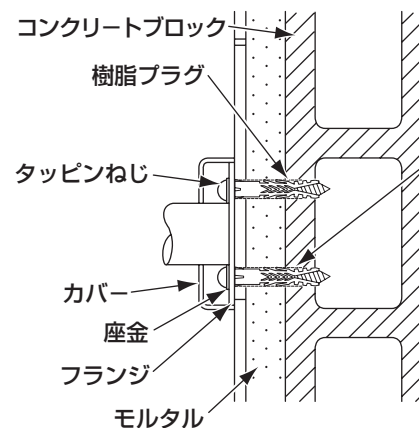
- 注1：**厚み12mm以上の構造用合板(JAS規格品)または同等以上の下地材に取り付けてください。なお、Iタイプ(前出寸法120mm)TS134GMY6・8を横向きに取り付けて使用する場合は、30mm以上の補強木が必要です。
- 注2：**指定寸法の下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。
- 注3：**タッピンねじをねじ込む前に、必ずシーリングをしてください。
- 注4：**タッピンねじを強く締めすぎて合板やタイルなどを破壊しないように注意してください。

コンクリートブロック下地・コンクリート下地：プラグ固定の場合

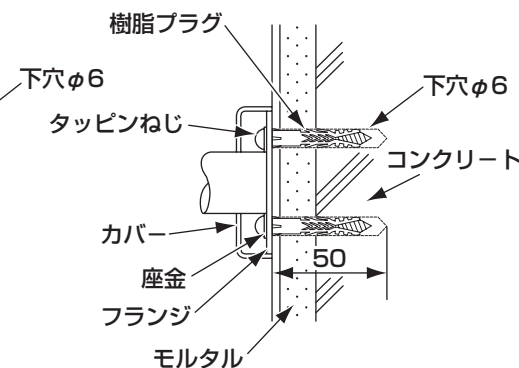
固定金具品番 T110D28、同梱のタッピンねじ・座金をご使用ください。

- ①心出しをしたあと、樹脂プラグの下穴(φ6mm、深さ50mm)をあける。**注1**
- ②樹脂プラグを下穴に軽く打ち込む。
- ③下穴および下穴周囲にシリコーンを塗布する。**注2**
- ④タッピンねじに座金を通し、フランジの取付穴より取り付ける。**注3**
- ⑤カバーを仕上げ面に押し付ける。

コンクリートブロック下地の場合



コンクリート下地の場合



注意

- 注1：**指定寸法の下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。
- 注2：**タッピンねじをねじ込む前に、必ずシーリングをしてください。
- 注3：**タッピンねじを強く締めすぎて合板やタイルなどを破壊しないように注意してください。

トイレブース：はさみ込み固定の場合

固定金具品番 T110D22R

注意

- トイレブースは厚み40mm、ペーパーハニカム、メラミンもしくはポリエステル化粧合板仕様相当の場合のみ取付可能です。
- 壁からの前出寸法が65mmの手すりのみ取付可能です。
Iタイプ(前出寸法120mm)および、Lタイプ(前出寸法120mm)、オフセットタイプは取り付けできません。

①心出しをしたあと、φ13mmのパイプの通し穴をあける。

②樹脂製パイプを通し穴に挿入する。【注1】

③取付プレートの内側のボルト穴に接着剤を塗布し、長ねじボルトを最後までねじ込み、ブース裏側より樹脂製パイプの穴に差し込みながら当てる。
※取付プレートには外側と内側に4カ所ずつボルト穴があります。内側のボルト穴を使用して取り付けてください。



④長ねじボルトの穴の周囲にシリコンを塗布する。【注2】

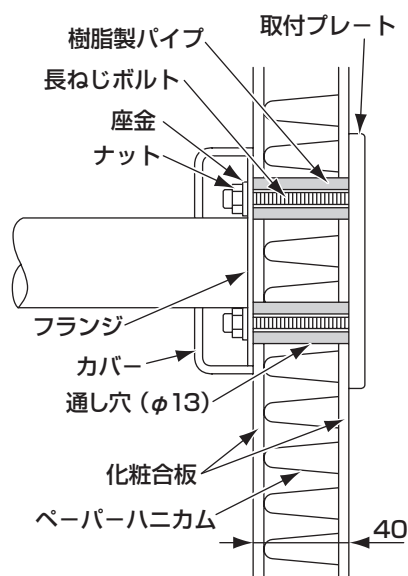
⑤フランジの取付穴を長ねじボルトに通し、座金、ナットで締め付ける。

⑥カバーを仕上げ面に押し付ける。

注意

注1：トイレブースに補強木を入れた場合は、固定金具に同梱の樹脂製パイプは使用せずに取り付けできます。

注2：座金、ナットで締め付ける前に、必ずシーリングをしてください。



点検項目

取り付けが完了したあと、ガタツキの確認をしてください。

ガタツキの確認

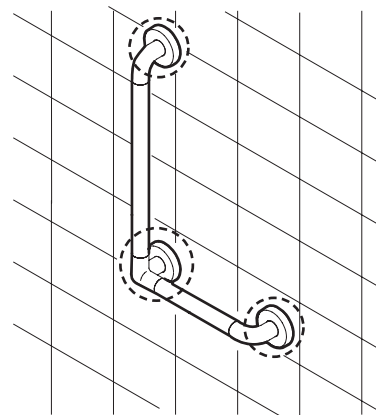
手すりにガタツキがないか確認してください。

接続部はしっかり組み立てていますか？

➡ 6 「手すりの組み立て」参照

手すりは壁にしっかり取り付けられていますか？

➡ 8 「手すりの取り付け」参照



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

※他の施工方法については、当社各支社・支店、営業所へお問い合わせください。